

谷町から発信されるいにしへのものがたり...



●狂言茶
ちやつぽ

壺

善竹忠一郎

●仕舞

通盛

森本 哲郎

●班

女アート 波多野 晋

●放下

僧小歌 今村 宮子

●能
殺生石
せつしようせき
空を飛ぶ鳥が、とある石の上を飛ぶと
落ちるので、不審に思っで見ていると...

山本 麗晃

平成27年 6月6日(土) 午後1時開演

6月のたにまち能



●能
蟬丸
せみまる

替之型

かえのかた
松浦信一郎

帝は、宮の後世を助けるため、清貫に命じて、
逢坂山に捨てさせます...

88th
山本能楽堂
Since 1928

■主催 / 公益財団法人 山本能楽堂 ■後援 / 大阪府・公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

入場券 ●一般券 5,500円 ●学生券 3,000円 繰り割引券(3回分) ●一般券 15,000円

お問い合わせ 山本能楽堂 / Tel. 06-6943-9454 Fax. 06-6942-5744 公式ホームページ <http://noh-theater.com/> e-mail info@noh-theater.com

国登録有形文化財
山本能楽堂
公式ホームページを
ご覧ください
<http://www.noh-theater.com/>

※山本能楽堂は平成18年12月に国登録文化財に指定されました。

午後1時始

能 「^{せみまる かえのかた} 蟬丸 替之型」

シテ(逆髪)	松浦 信一郎	後見	山本 勝一
ツレ(蟬丸)	林本 大		山本 章弘
ワキ(清貴)	福王 和幸		前田 和子
アイ(博雅三位)	善竹 隆司	地謡	山本 順之
			波多野 晋
笛	貞光 義明		今村 宮子
小鼓	荒木 賀光		森本 哲郎
大鼓	辻 芳昭		今村 一夫
			高橋 京子
			山下 麻乃
			山本 麗晃



松浦 信一郎

● あらすじと解説

延喜帝の第四皇子、蟬丸の宮は盲目の身に生まれました。帝は、宮の後世を助けるため、清貫に命じて、逢坂山に捨てさせます。清貫は悲しみますが、蟬丸は、過去の罪業を償わせようとの父君の慈悲なのだ、恨み嘆く態度を見せません。清貫は命令の通りに蟬丸を剃髪、出家させ、簀、笠、杖をおいて去ってゆきます。一人になると、蟬丸もさすがに淋しく、琵琶を抱いて泣き伏します。やがて博雅三位がやって来て蟬丸を慰め、小屋を作りその中へ助け入れて、また見舞いに来てと行って帰ってゆきます。蟬丸の姉宮逆髪は、その名の如く頭の髪が上に向かって逆さまに生え、そのため狂乱となっています。彼女は御所をさまよい出て、いつしか逢坂山へとやって来ます。そしてふと気がつく、近くの藁屋の内から妙なる琵琶の音が聞こえて来ます。不審に思って立ち寄ると、中から声をかけたのは、弟宮でした。姉弟は、互いに手を取りあって、身の不運を嘆き悲しみ、また慰め合います。やがて、名残りを惜しみつつも、姉宮はいずれともなく去って行き、弟宮は見えぬ目で見送ります。「替之型」という小書演出になると、「両シテ」といいツレの蟬丸もシテとして重く取り扱われたり、またシテとツレが入れ替わることもあります。道行と呼ばれる箇所では橋掛かりを使った演出になります。

狂言 「^{ちやつば} 茶壺」

シテ(スツバ)	善竹 忠一郎	後見	上吉川 徹
アド(中国の者)	善竹 隆司		
アド(目代)	上西 良介		

● あらすじと解説

酒に酔っ払い、道で眠りこんでいる男がいます。通りかかったすっぱが見つけ、男が背負っている茶壺を盗もうとしますが、右の肩ひもに手を通して盗めません。そこで一計を案じ、すっぱも左の肩ひもに手を通して寝、男が目覚めると、これは自分のものだ主張します。男はあわてて代官を呼び事情を説明します。しかし、すっぱもそれを聞き出しては同じ説明を繰り返します。判断がつかず困った代官は「昔より奪い合う物は中から取るという」と言って…。

仕舞 「^{みちもり} 通盛」 森本 哲郎 「^{はんじょ} 班女アト」 波多野 晋 「^{ほうかそう} 放下僧小歌」 今村 宮子

地謡 山本 順之 山本 博通 林本 大 高橋 京子

休憩10分

能 「^{せっしょうせき} 殺生石」

前シテ(里女)	山本 麗晃	後見	松浦 信一郎
後シテ(野干)			森本 哲郎
ワキ(玄翁道人)	福王 知登		林本 大
アイ(能力)	善竹 隆平	地謡	山本 章弘
			山本 博通
笛	貞光 訓義		今村 一夫
小鼓	清水 皓祐		今村 宮子
大鼓	山本 哲也		前田 和子
太鼓	中田 弘美		吉山 有
			山下 麻乃
			井上 俊明



山本 麗晃

● あらすじと解説

玄翁という高僧が、奥州から都へ上る途中、下野国(栃木県)那須野の原へさしかかります。空を飛ぶ鳥が、とある石の上を飛ぶと落ちるので、不審に思っ見てみると、一人の里の女が現れ、その石は殺生石といい、人畜を害する恐ろしい石だから、近寄らないようにと注意します。玄翁がその由来を尋ねると、女は次のような話をします。昔、鳥羽院につかえていた玉藻ノ前は、才色兼備の女性で、帝もお気に入りであったが、実は化生の者であった。帝を悩ませようと近づいたが、その正体を見破られたのでこの野に逃げたが、殺されたため、その魂が殺生石になったのだと詳しく語ります。そして、実は自分はその石の魂であるとあかし、夜になれば懺悔のため姿を現すといい残して、石の中に隠れます。(中入)玄翁が石に向かって仏事をなし、引導を与えると、石は二つに割れ、中から野干(狐)が現れます。野干は、天竺(インド)では斑足太子の塚の神、大唐(中国)では幽王の後褒姒となって世を乱し、日本へ渡り、この国をも滅ぼそうと玉藻ノ前という美女に変じて宮廷に上ったが、安倍泰成の祈祷で都を追われ、その後、この野に隠れ住んだが、狩り出されて遂には射殺され、その執心が殺生石となっていたのでした。しかし、野干(狐)は、今、あなたの供養を受けたので、以後、悪事はしないと誓って消え失せます。

午後4時半頃終了予定

公益財団法人 山本能楽堂 賛助会員募集のお知らせ

山本能楽堂では広く皆様方に能楽の楽しさに触れ魅力を感じて頂くため、賛助会員を募集させて頂いております。普及にお力添えにご入会頂けます方は、下記お問い合わせ先までおたずね下さいませ。後日、(公財)山本能楽堂より書類をお送りさせていただきます。

	個人会員 A	個人会員 B	法人会員
年会費1口	10,000円	30,000円	100,000円
ご招待(一口あたり)	たにまち能招待券2枚(通常11,000円)	たにまち能招待券6枚(通常33,000円)	たにまち能招待券などもしくは舞台使用料を会費分値引
その他の特典	●各種公演の御案内を無料送付 ●会員様のみのイベントに参加		

■主催/公益財団法人 **山本能楽堂**
 ■後援/大阪府・公益財団法人 関西・大阪21世紀協会
 山本能楽堂 / Tel. 06-6943-9454 Fax. 06-6942-5744
 e-mail info@noh-theater.com
 山本能楽堂のホームページ / http://www.noh-theater.com/



地下鉄谷町4丁目④番出口より、北に一筋目の角を左へ100m、南側(徒歩2分)

次回のたにまち能
平成27年7月5日(日) 午後1時開演

素謡会

- 「遊行柳」 松浦 信一郎
- 「杜若象」 山下 麻乃
- 「玄象」 森本 哲郎

※許可なき撮影、録音は著作権、肖像権などに抵触いたしますので、ご遠慮下さいませようお願い申し上げます。